

料金後納

ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躱ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要とされる地元でのお役立ち企業を目指しております。東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

## 一幸建設事業再構築への道② ZEB 化モデルショールーム建設事業

今年3月(有)府中屋様(問屋町)が、新社屋「豊橋商工会議所第11回環境経営賞」最優秀賞を受賞されました。2021年8月に「次世代型省エネ ZEB オフィス」新社屋を建設されたことが今回の受賞の大きな要因の一つです。企画・設計は(株)加藤設計様(名古屋市)、建設工事は弊社にて担当致しました。国策として掲げられた2050年カーボンニュートラル実現に向け、最も貢献度が高いとされる事業は、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用など、CO2排出量を削減することができる事業です。ZEB事業もその一つであり、環境省の「ZEBロードマップ」では、技術的かつ経済的に利用可能な技術を最大限活用し、新築及び改修される事業建築物についてはZEBの性能基準が確保されていることを目指すことが掲げられています。



### 【補助採択事業の概要】

建設業において、資材価格やエネルギーコストの高騰など、新築需要も年々減少傾向にあり、利益率の減少が続いている。国が推進する「既存建築物を利用したZEB化リフォーム」に、地域で最初に本格参入し市場を開拓、新たな高付加価値な建築ソリューションを訴求する事により事業収益の改善を図る。

豊橋商工会議所第11回環境経営賞「最優秀賞受賞」  
BESL(建築物省エネルギー性能表示制度)最高基準5スター



事業再構築のZEB改修モデルショールーム  
となる弊社の本社ビル(築32年)

この度、事業再構築補助金(通常枠)の補助事業に採択された『ZEB化リフォームによる既存建築物の有効活用事業』の柱となる、弊社オフィスビルのZEB化モデルショールーム改修の準備を着々と進めております。今回のプロジェクトに於いても(株)加藤設計様にZEB設計(BESL認証)とオフィスデザインの監修を依頼し参画を頂いております。弊社オフィスビルがどの様に生まれ変わっていくか随時情報を発信して参りますので、ご期待下さい。

### 【環境省が推奨するZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)導入によるメリット】

- ✓ **光熱費の削減:** エネルギー消費量の削減に伴い、建物の運用に係る光熱費を削減することができます。
- ✓ **快適性・生産性の向上:** 自然エネルギーの適切な活用、個人の好みに配慮した空調や照明の制御などにより、省エネルギーを実現しつつ快適性・生産性を向上させることができます。
- ✓ **不動産価値の向上:** ZEBのような環境・エネルギーに配慮した建物は、他の一般的な建築物と比較して不動産としての価値の向上、街としての魅力の向上などにつなげることができます。
- ✓ **事業継続性の向上:** ZEBを実現することで災害等の非常時において必要なエネルギー需要を削減することができます、さらに再生可能エネルギー等の活用により部分的にはあってもエネルギーの自立を図ることができます。

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい!

※ニュースレターをご不要な場合はお手数ですが0532-46-9336まで

## 住宅施工例コンテスト

今年も LIXIL メンバーズコンテストの締め切りがやってきました。このコンテストは『“いい家、いい暮らし”の実現を競う、住宅施工例コンテスト』として実施されています。2020 年はコロナの影響で中止になりましたが、弊社も毎年応募しています。

直近では 2021 年度に新築部門で、2022 年度にリフォーム部門で敢闘賞を受賞しました。Instagram からの応募ができるようになったり、各部門の上位 3 作品を施工した会社は式典会場での公開審査会の上、グランプリを決定するようになったりと、年々変化しており応募総数も増えてきているようです。2022 年度の応募総数は 1825 作品（新築部門：1031 作品 リフォーム部門：794 作品）でした。公開審査はオンラインで見ることができたので私も見てみましたが、従来の審査基準であった機能や性能、お施主様からの要望に答えるだけでなく、自然との調和や街並みへの配慮、地域に根ざした伝統技術の継承や、次世代へ住み継がれ資産として価値を維持・向上できる工夫などにも触れており、とても勉強になりました。



営業・設計 山崎

## 地域の魅力を発信②

私は、豊橋商工会議所青年部に所属しているのですが、その中の活動の一つとしてサッカー同好会があります。毎年 7 月に全国大会があり、日本全国から青年部サッカー同好会の方々が集まり、大会が開かれます。今年は、静岡県の藤枝市に行ってきました。

今回の大会は、豊橋からは 30 名ほどで参加してきました。実際のサッカーは 4 試合中、全て負けてしまったのですが、豊橋の青年部の方、他県の青年部の方など色々な方々ととても良い交流をすることができた三日間でした。藤枝市に行くのは初めてでしたが、サッカー場がたくさんあったり、天然芝のサッカー場がある高校がいくつもあったりと、PR されている通りサッカーの街だと思いました。出身が藤枝市の有名なサッカー選手も多くいて、街をあげてサッカーの文化が根付いているのだと思いました。



以前にも書かせていただきましたが、街づくりには何か人が集まる施設や目的があると、経済効果も生まれてより発展していくのだと思います。サッカーや野球、バスケットボールなどのプロスポーツチームが地元にあることもその一つだと思います。新しい施設を建てることも街が発展していくことの一つですが、より大切にしていけばと思うのは歴史です。歴史や文化はそう簡単にはできないものだと思いますし、実際今まであるものを伝統として引き継いでいくことは、難しいことでもやっていくべきことだと思います。藤枝市がサッカーの街であるように、地元豊橋市も文化や伝統を大切に、PR をして様々な方に知ってもらいたいと思いました。

建築不動産営業 筒井

